

TOTO

自動洗浄小便器(自己発電タイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の給表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		してはいけない「禁止」内容です。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		湿気の多い場所で使用しないでください。
			必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所に設置しない
故障、漏電の原因になります。

注意

必ず2人以上で施工を行う
腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

必ず実行

施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する
家財を汚す原因になることがあります。

2 同梱部品の確認 (梱包を開梱し、下表を参照して確認してください)

名称	数量	略図	備考	
上ふた	1個			
給水金具	開閉工具	1個		
	止水栓	1個		
	クイックファスナー	1個		
着脱トラップ	1個		UFS810型 UFS820型 UFS860型 のみ	
クリーントラップ用ふた	1個		UFS800型 のみ	
固定片	固定片	2個		UFS810型 のみ UFS820型
	木ねじ一式	木ねじ6個 ゴムスリプ2個		
バックハンガー	バックハンガー	2個		UFS800型 のみ UFS860型
	木ねじ一式	木ねじ6個 座金2個		
バックアップ用電池	1個		コントローラー 上面に付設	
洗浄用磁石	1個		お客様に必ず お渡しください	
施工説明書	1枚	本紙		
取扱説明書	1枚		お客様に必ず お渡しください	
インシュロック	1個		コントローラー部に取付 説明書を貼り付けています	

●排水金具(排水ソケットまたは壁フランジ)は別梱包です。

3 仕様

タイプ	自動洗浄小便器(自己発電タイプ)			
品番	UFS820CW(Z)	UFS810CW(Z)	UFS860CW(Z)	UFS800CW(Z)
小便器形状	トラップ着脱式 床置(大形)	トラップ着脱式 床置(中形)	トラップ着脱式 壁掛(大形)	トラップ固定式 壁掛低リップ
商品寸法 (幅)×(奥行き)×(高さ)	440×420× 1125	390×380× 1020	470×360× 955	390×420× 1025
商品質量	約52.0kg	約43.0kg	約38.0kg	約42.0kg
電源	自己発電 ※バックアップ用電池あり			
使用温度範囲	0~40℃			
感知距離	600mm(白紙 300の場合)			
感知必要時間	5秒以上(5秒未満では作動しません)			
使用水	水道水および飲用可能な井戸水			
給水圧力	最低必要水圧0.07MPa(10L/min. 流動時) 最高水圧0.75MPa			
感知(器)洗浄吐水量	使用状況に応じて2~4L/回に自動調節(ファジー制御)			
前洗浄機能	「切(工場出荷時)」と「0.5L/回」と「2L/回」を切替スイッチで変更可能			
設備保護洗浄	未使用時間24時間ごとに1回約4Lの洗浄			
給水接続	15A(接続ねじPJ1/2)			
排水接続	50鉛管またはVU50、VP50(床置の排水ソケットは専用TOTO品を使用)			

4 取り付け前に

●水道工事は十分に工程を打合わせのうえ、行ってください。

注意

浴室など湿気の多い場所には設置しない
水場使用禁止

- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa(10L/min 流動時)、最高水圧0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 再生水および異物を多く含む水には使用できません。
- センサー面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。

センサーの照射角度および感知距離は、図のとおりです。なお、小便器の前に手すりなどを設置する場合は、光電センサーの感知領域内(安定感知領域内および不安定感知距離内)に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士(大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む)が対立するような設置は誤作動を生じますので避けてください。

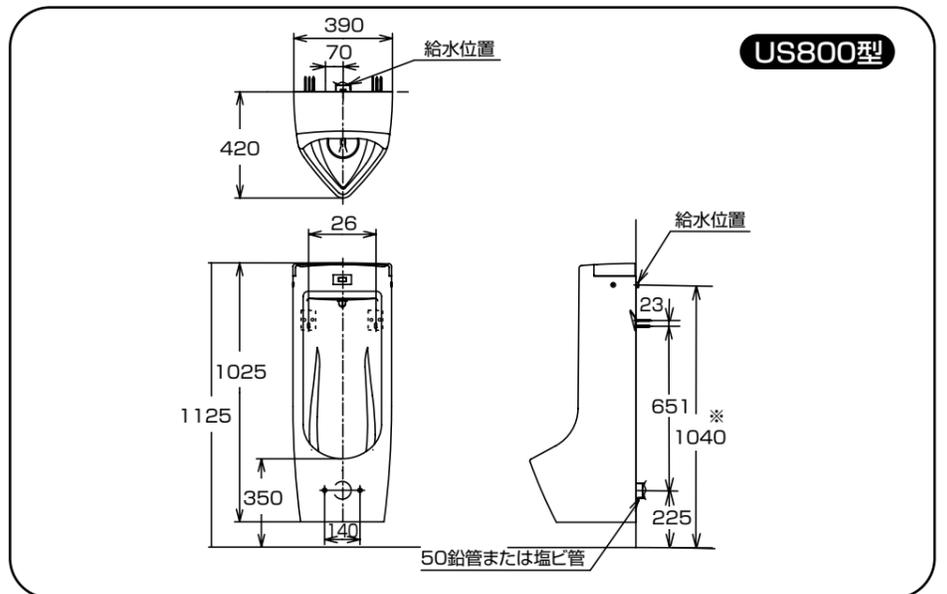
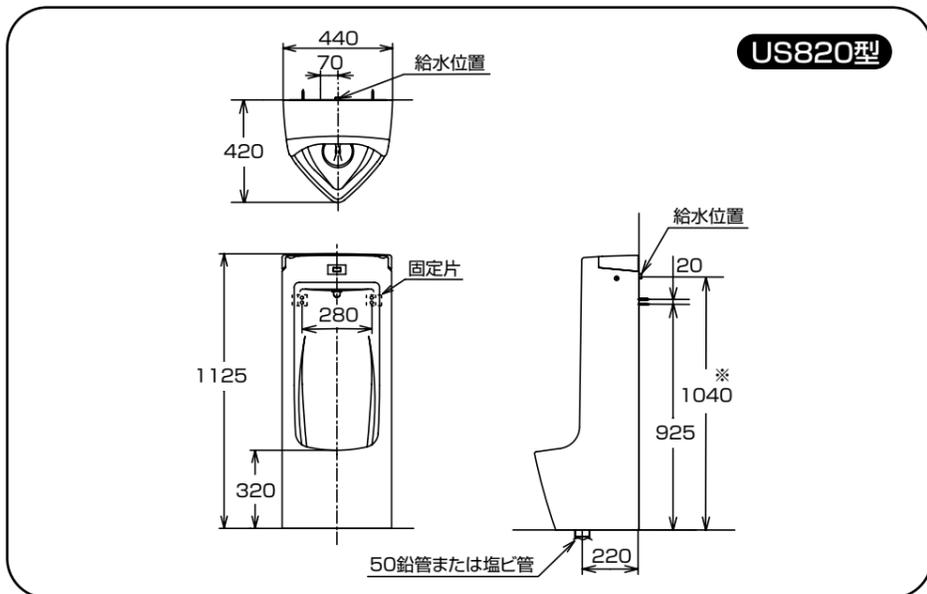
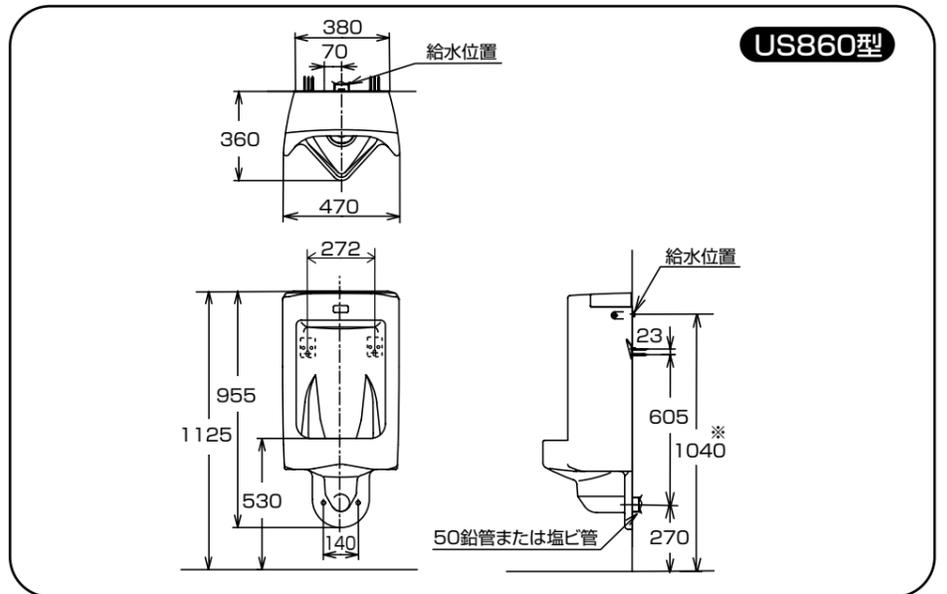
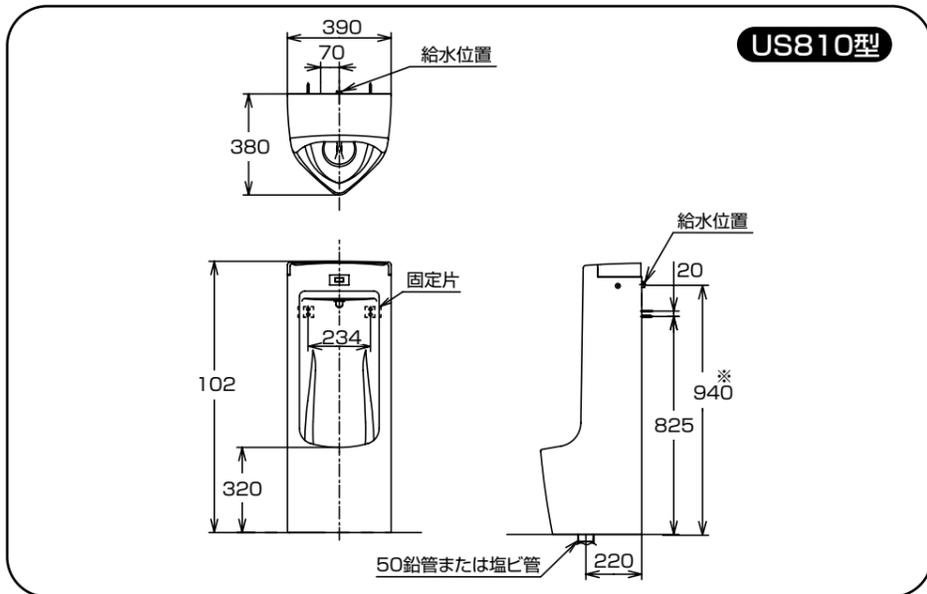
- 強い太陽光が入る環境では作動しない場合があります。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

5 作動のしくみ

<p>① 感知</p> <p>●小便器に接近するとセンサーが感知します。</p>	<p>② 本洗浄</p> <p>●使用後、小便器より離れると小便器を本洗浄します。</p>	<p>前洗浄</p> <p>●使用前に、小便器を洗浄します。</p> <p>注意</p> <p>前洗浄する場合は、施工の手順 図-8(前洗浄の設定)をご参照ください。</p>	<p>設備保護タイマー</p> <p>●長時間小便器を使用しないときは、24時間経過するごとに自動的に洗浄し、小便器排水管の乾きを防ぎます。</p>	<p>掃除モード</p> <p>●光電センサーに洗浄用磁石(付属品)を近づけると、人が小便器の前に立っても感知なくなり清掃時に便利です。10分たつと、通常モードに戻ります。</p>
---	--	---	---	---

6

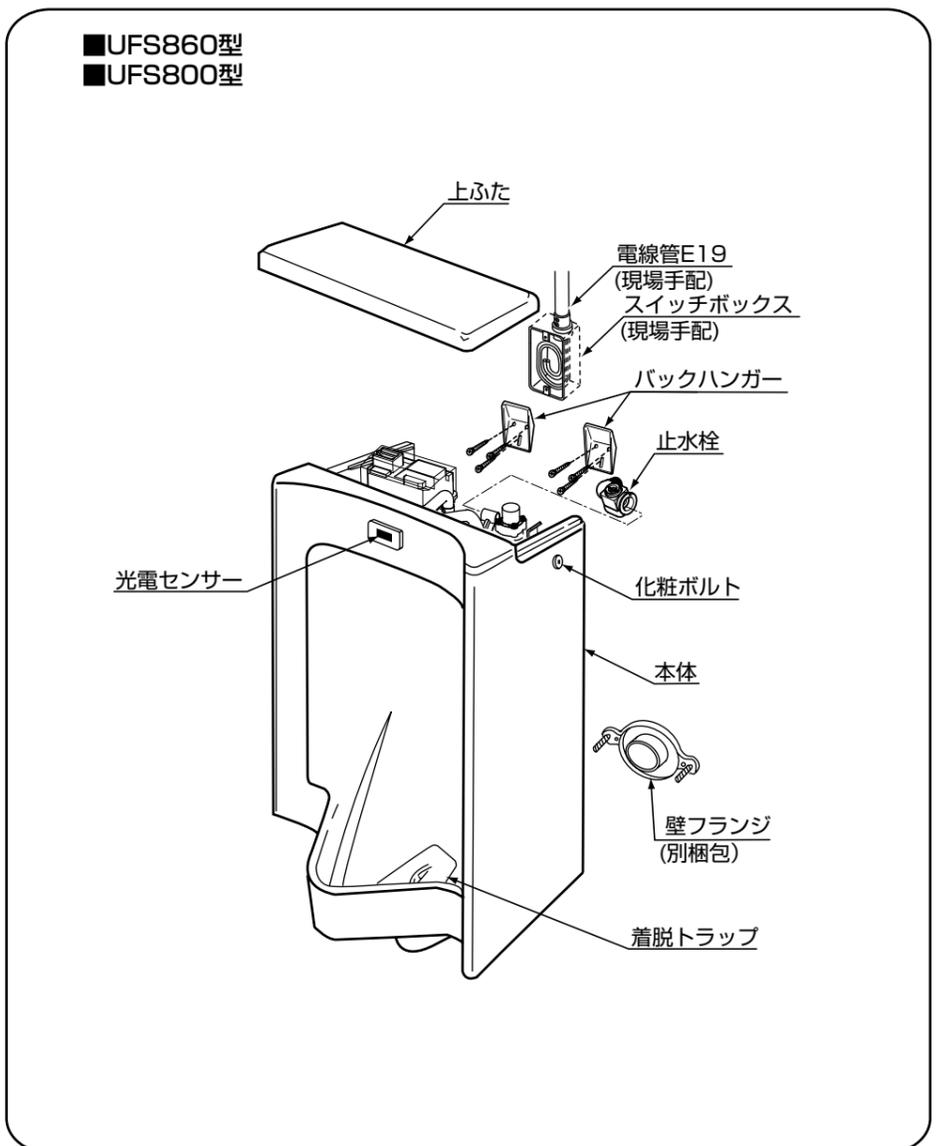
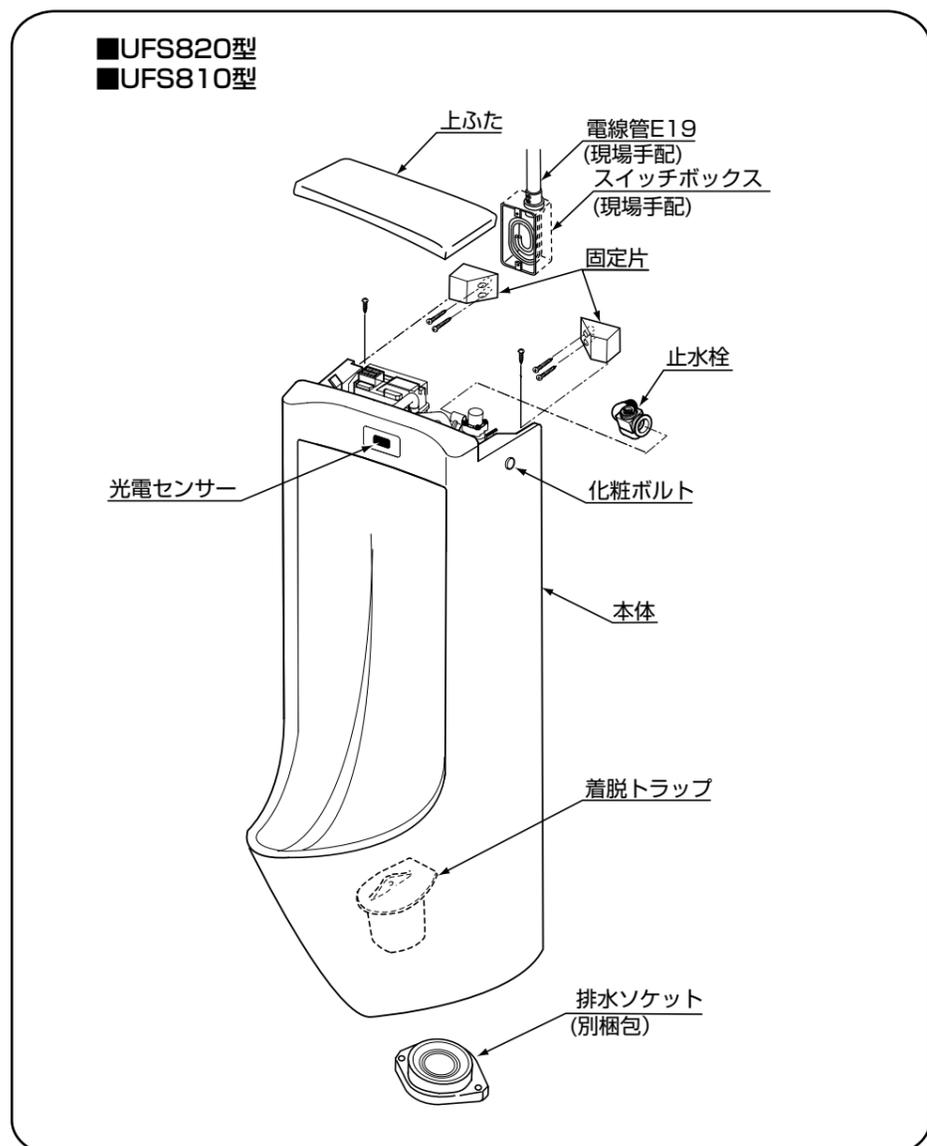
完成図

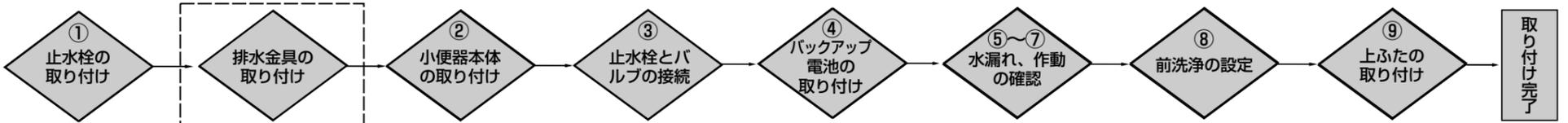


※1 給水位置

7

各部の名称と部品の確認



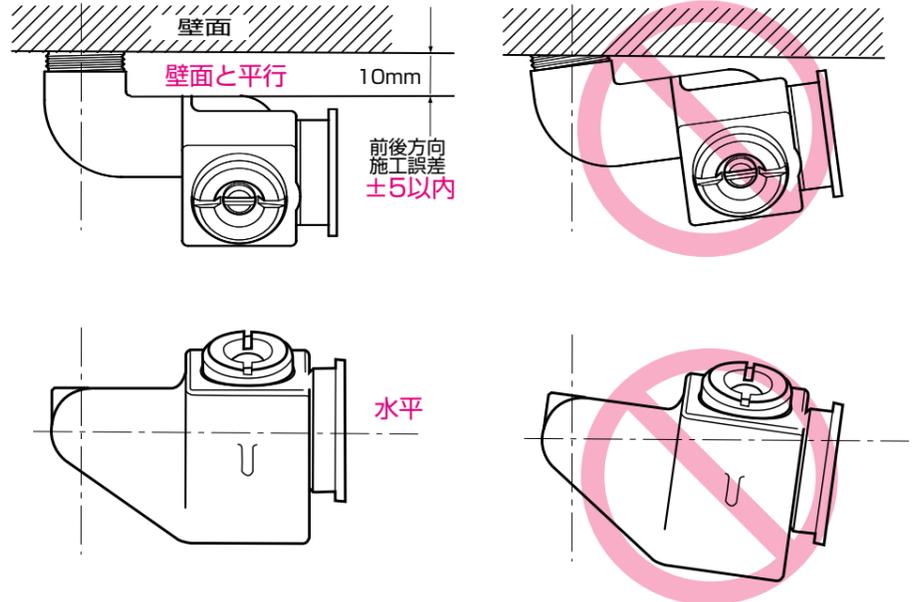
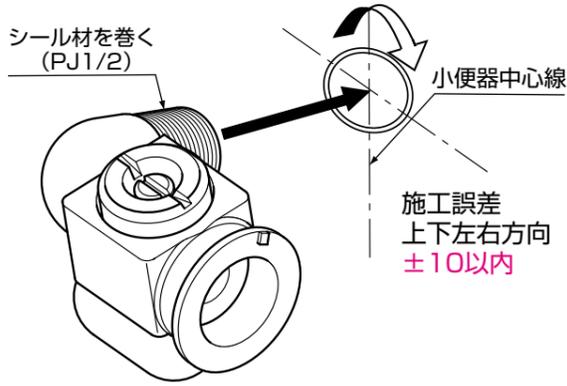


※排水金具の取り付けは排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

1. 止水栓の取り付け

- ❗ 取り付け前に必ず通水し、給水管内のごみを除去してください。
- 接続部にシーล材を巻き矢印の方向へねじこみます。

- ※ 止水栓は施工誤差許容範囲内に施工してください。
- ※ 止水栓は床面・壁面に対して平行になるように取り付けてください。部品が陶器に接触して取り付けできない場合があります。



品番	上下方向	左右方向	前後方向
US810系	940±10	±10	±5
US820系	1040±10		
US860系	1040±10		
US800系	1040±10		

2. 小便器本体の取り付け

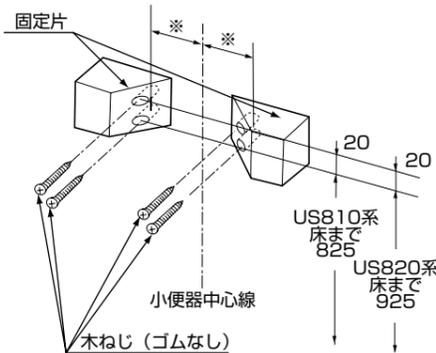
※小便器本体を取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。取り付けの際は排水金具と同梱の取付説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

<US810系・US820系>

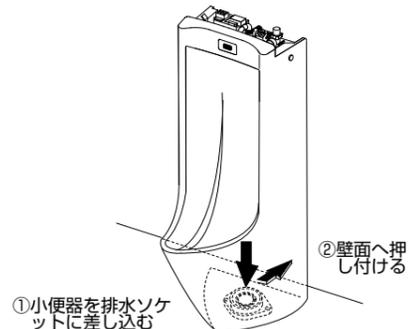
①図の位置に固定片を取り付けます。

※寸法

品番	※寸法
US810系	117
US820系	140

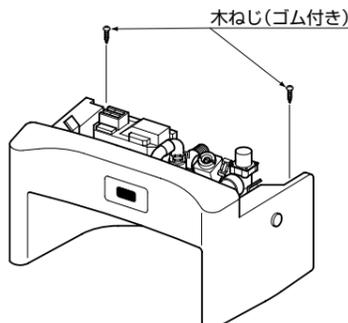


②小便器排水口周辺のごみを取り除き、小便器を排水ソケットに差し込みます。小便器と壁面にすき間が生じる場合は小便器を壁面に押し付けてください。



③小便器後面を壁面につけた状態で木ねじを取付穴から固定片にねじ込み、小便器を固定してください。

- ※木ねじを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
- ※小便器本体を止水栓にあてないよう、ご注意ください。



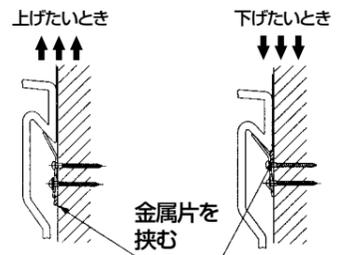
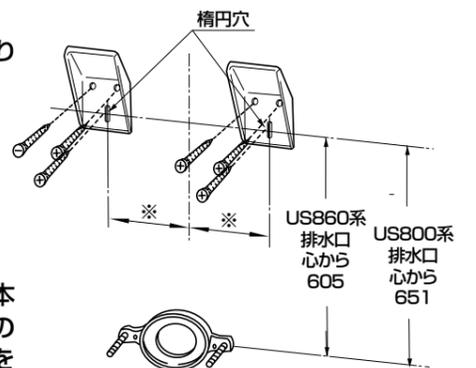
<US860系・US800系>

①図の位置にバックハンガーを取り付けます。

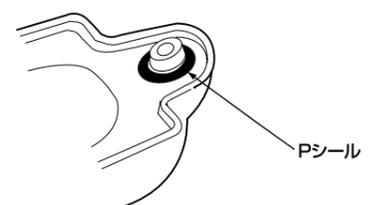
※寸法

品番	※寸法
US860系	136
US800系	133.5

※バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、楕円穴のみで仮止めします。Pシーลを付けずに小便器を掛けて所定の位置になるよう調整し、本固定します。その際、小便器が所定の高さにつかない場合は、バックハンガーの木ねじをゆるめ、壁との間に金属片を挟んで調整します。

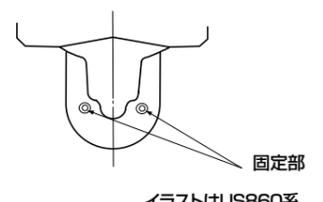


②小便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、Pシーลを小便器排水口に取り付けます。



③小便器をバックハンガーにかけ、フランジのボルトで小便器下部を固定します。

- ※ナットを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
- ※小便器本体を止水栓にあてないよう、ご注意ください。



イラストはUS860系

3. 止水栓とバルブの接続

施工時にワンタッチリングを外さないでください。

- 止水栓とバルブの接続は、クイックファスナーで行います。
- ※ クイックファスナーは止水栓の箱の中に入っています。



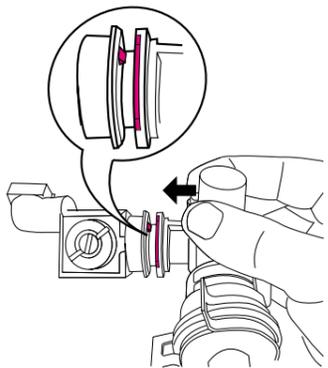
<取付方法>

- ① バルブのリング養生紙を取り除きます。

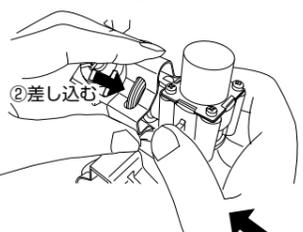
⚠ 注意

● バルブのリングにごみの付着や傷付きがないよう注意する
必ず実行

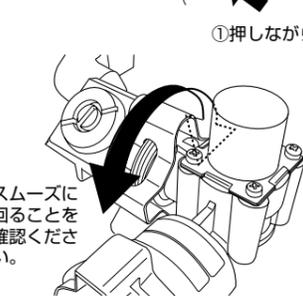
- ② バルブを止水栓へ差し込みます。
※ 止水栓のつばの突起にバルブのつばの溝を合わせて差し込んでください。



- ③ 止水栓とバルブのつばを合わせて、クイックファスナーを差し込みます。
※ バルブの差し込みが不十分な場合、クイックファスナーが正常に取り付けできません。



- ④ クイックファスナーの中溝につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認してください。



⚠ 注意

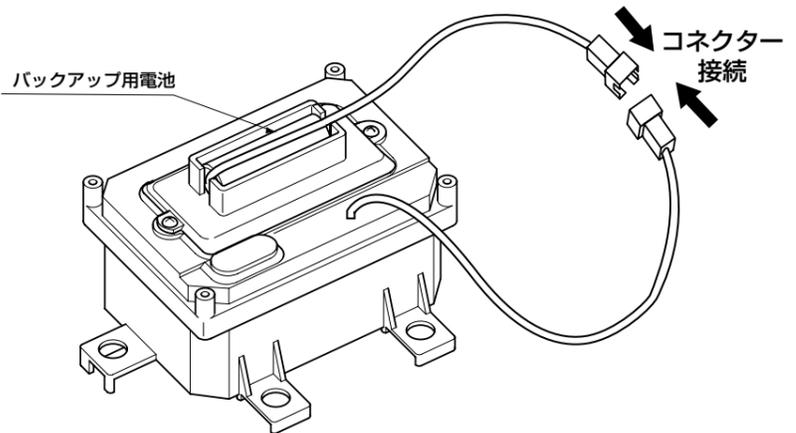
● クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は接続作業をやり直す
クイックファスナーの接続が不完全だと水漏れの原因になります。
クイックファスナー接続後、必ずインシュロックにて固定する

● 必ず実行

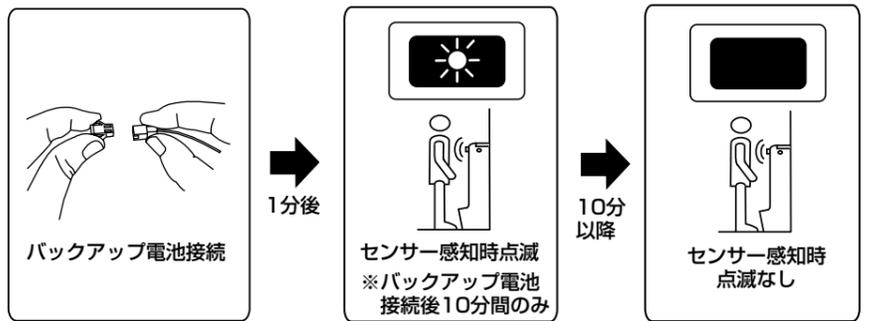
※ クイックファスナー取付方法は、取付説明書を参照してください。

4. バックアップ電池の接続

- コントローラーのコネクターとバックアップ電池のコネクターを接続してください。



※ バックアップ電池接続後、1分程度で光電センサーの感知状態を確認できるように光電センサー感知時にランプが点滅するようになります。感知時にランプが点滅するのは10分間でその後は電池寿命保持のため、ランプは点滅しなくなります。



5. 給水接続箇所の水漏れ確認

- 配管接続の間違いが無いことを確認後、配管に通水し、配管と止水栓の接続、および止水栓とバルブの接続において水漏れがないことを確認します。

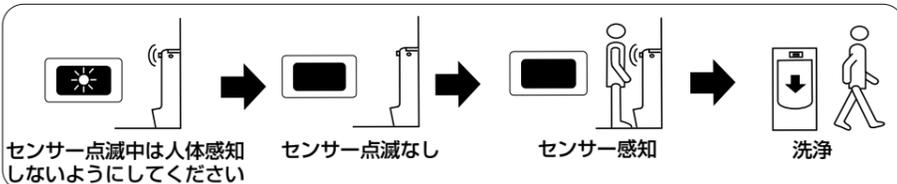
6. 光電センサー感知距離調整

- 光電センサーの感知距離調整は自動で行います。

※ バックアップ電池の接続後、1分間程度で光電センサー感知距離の自動調整機能が働きますが、人体以外の感知により光電センサーのランプが点滅し続ける場合は、感知距離調整中ですので、ランプが消えるまで人体による感知がないようご注意ください。
※ ランプ点滅中に人体感知があると調整に要する時間が長くなります。ランプが消えれば調整完了です。

7. 便器洗浄動作確認

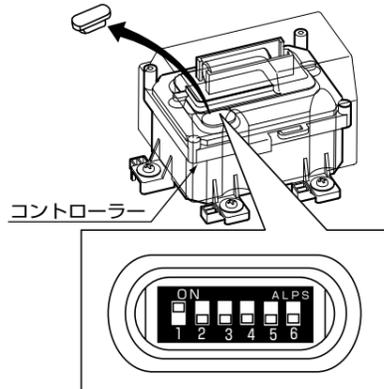
- 人体感知のない状態で、光電センサーのランプが消えていることを確認したあと、光電センサーを感知させて便器洗浄が動作することを確認します。



※ 人体感知のない状態で光電センサーが点滅しているときは、光電センサーが感知距離の自動調整を行っています。ランプの点滅が消えるまでお待ちください。(詳細は「6. 光電センサー感知距離調整」をご確認ください)

8. 前洗浄の設定

キャップを外す

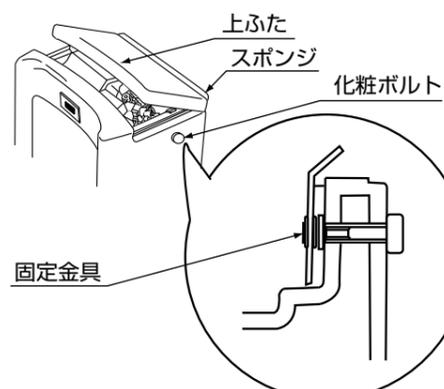


※ 前洗浄スイッチは工場出荷時、「切」に設定してあります。

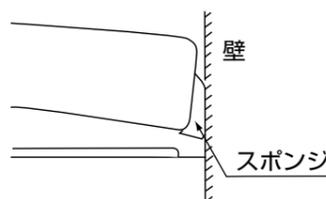
- ① コントローラーの設定切替スイッチのキャップを外し、1番スイッチをONにしてください。
- ② 2番スイッチで前洗浄の水量を設定してください。
ON ⇒ 0.5L
OFF ⇒ 2.0L
- ③ 設定後はキャップを元どりに取り付けてください。

※ 3～6番のスイッチは前洗浄の設定とは関係ありません。誤って3～6番スイッチをONにした場合は必ずOFFに戻してください。

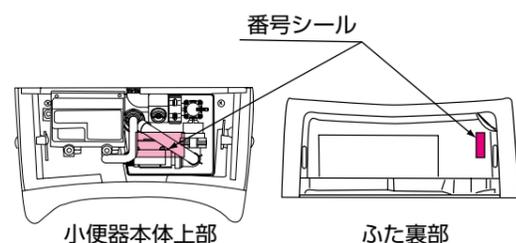
9. 上ふたの取り付け



- ① 固定金具がボルトの先端にくるように六角棒レンチ(呼び4)で化粧ボルトをゆるめてください。



- ② ふた後面に貼り付けてあるスポンジを壁に押しつけながら、ふたをのせます。化粧ボルトを回し、小便器本体と上ふたを固定します。



- ※ 化粧ボルトを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
- ※ 上ふたを固定後、上ふたと小便器本体の間にすき間が生じた場合は、いったん化粧ボルトをゆるめ、すき間ができないよう両側均一に締め直してください。
- ※ 上ふたは必ず同一梱包品を取り付けてください。上ふたと小便器本体は一体で生産しておりますので、同一梱包品以外の上ふたと組み合わせますと、ガタツキを生じる場合があります。
- ※ 組み合わせは小便器本体の収納面と上ふた裏面に貼り付けた番号シールの数字でご確認ください。